



＜ローランドの名機から、  
数々の音楽ジャンルが生まれた…＞

- 「TR-808」→エレクトロ、マイアミ・ベース、
- 「TB-303」→アシッド・ハウス、テクノ、
- 「TR-909」→ハウス、ヒップホップ、ガバ、

1980年に発売された日本製リズムマシン「TR-808」(通称:ヤオヤ)。  
販売期間3年間でわずか1万2000台しか売れなかった装置は、後に海を渡り、  
80年代末に花咲くクラブシーン隆盛の中で、リバイバル評価を受ける。  
後続の「TR-909」、ベースライン用シーケンサー「TB-303」など、  
発売された姉妹機も、楽器がジャンルそのものを生みだしていく  
きっかけとなった。



**菊本忠男(きくもと・ただお)**  
日本最初期のトランジスタ技術者の一人。41年大阪府生まれ、  
77年にローランドに入社し、プロジェクト「P8」セクションの  
リーダーとして「TR-808」、「TR-909」、「TB-303」などの代表機種を開発。  
世界的通信規格「MIDI」制定にも関わる。  
代表取締役社長を経て、現在はロボット工学、DSP研究者。



番線印	担当 様	新刊委託 冊	<p><b>TR-808&lt;ヤオヤ&gt;を作った神々</b> 菊本忠男との対話——電子音楽 in JAPAN外伝(仮)</p> <p>田中雄二 [著]</p> <p>ISBN : 978-4-86647-132-7 本体2,500円+税 12月11日(金) 発売予定 A5/352ページ/並製</p>	DU BOOKS
番線印	担当 様	注文扱い 冊	<p><b>配信映えるマスタリング入門</b> YouTube、Spotify、Apple Musicにアップする前に知ってほしいテクニック TBSラジオ「アフター6ジャンクション」に著者が出演!</p> <p>チェスター・ビーティー [著]</p> <p>ISBN : 978-4-86647-127-3 本体1,500円+税 好評発売中 四六/176ページ/並製</p>	